

庶務概要（平成 22 年度）

1 水産総合研究所の沿革と組織

（1）位 置

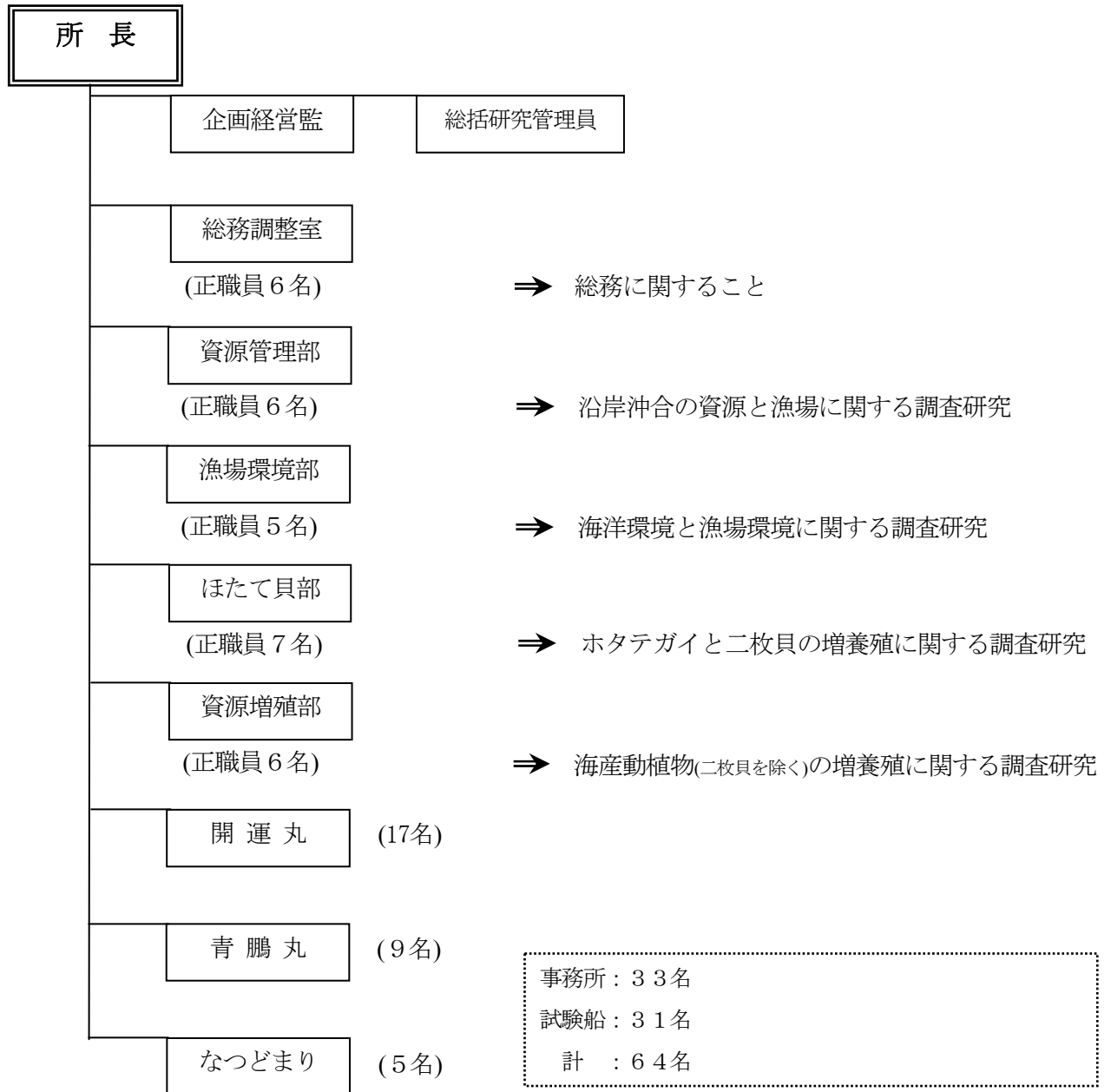
東津軽郡平内町大字茂浦字月泊 1 0

(〒039-3381 TEL 017-755-2155 FAX 017-755-2156)

（2）沿 革

| | |
|-------------|--|
| 明治 33 年 2 月 | 青森県水産試験場設置認可（農商務大臣） |
| 明治 33 年 4 月 | 青森市大字大野字長島青森県庁構内に設置し事務開始 |
| 明治 34 年 | 相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置 |
| 大正 13 年 | 本場を八戸市湊町に移転 |
| 昭和 23 年 | 黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置 |
| 昭和 23 年 | 本場を西津軽郡鱒ヶ沢町に移転、庁舎新築 |
| 昭和 24 年 | 陸奥湾分場をむつ市に設置 |
| 昭和 25 年 | 黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転 |
| 昭和 27 年 | 陸奥湾分場が陸奥湾水産増殖研究所と改称され独立機関となる |
| 昭和 43 年 | 水産増殖研究所を平内町茂浦に移転し、水産増殖センターと改称する |
| 昭和 51 年 3 月 | 鱒ヶ沢町大和田に水産試験場新庁舎を竣工 |
| 昭和 56 年 4 月 | 十和田市に青森県内水面水産試験場を設置する（相坂、黒石両養魚場及び内水面関係業務を移管） |
| 昭和 58 年 2 月 | 青森県水産試験場漁業研修センター竣工 |
| 平成 5 年 | 水産増殖センター新庁舎竣工 |
| 平成 12 年 4 月 | 水産試験場創立 100 年 |
| 平成 13 年 3 月 | 八戸市ポートアイランドに漁具倉庫新築 |
| 平成 15 年 4 月 | 試験研究機関の統合により青森県水産総合研究センターと改称され、下部機関として増養殖研究所、内水面研究所が配置となる |
| 平成 18 年 4 月 | 水産総合研究センター庁舎を鱒ヶ沢町舞戸町に移転 |
| 平成 21 年 4 月 | 青森県水産総合研究センターと増養殖研究所を統合し、地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所となり、庁舎を平内町へ移転 |

(3) 機 構 (平成 22 年度)



(4) 施設

| | | | |
|-------------------|---------------------------------|------------|-----------------------------------|
| ① 土地 | 20,971.30m ² | | |
| ② 建物 | 5,461.74m ² | | |
| ・管理研究棟 | 鉄筋コンクリート造 | 1部2階建 | 1,735m ² |
| ・実験機械棟 | 鉄骨造 | 平屋建 | 1,122m ² |
| ・飼育実験棟 | 〃 | 〃 | 1,563m ² |
| ・研修宿泊棟 | 木造 | 2階建 | 271m ² |
| ・作業棟 | 〃 | 平屋建 | 324m ² |
| ・取水ろ過棟 | 鉄筋コンクリート造 | | 103m ² |
| ・倉庫棟 | 木造 | 平屋建 | 108m ² |
| ・発電機棟 | 鉄筋コンクリート造 | 〃 | 59m ² |
| ・車庫棟 | 鉄骨造 | 〃 | 74m ² |
| ・油庫棟 | 〃 | 〃 | 8m ² |
| ・その他 | | | 95m ² |
| ③ 主な施設 | | | |
| ・海水取水ポンプ | 7.5KW | 3台 | |
| ・逆洗ポンプ | 18.5KW | 1台 | |
| ・ろ過槽(重力式) | 80トン/時 | 3基 | |
| ・ろ過貯水タンク | 120トン | 1基 | |
| ・屋外コンクリート水槽 | 12トン:6面、10トン:8面 | | |
| ・親魚棟コンクリート水槽 | 30トン:1面、20トン:1面、10トン:4面 | | |
| ・屋内FRP水槽 | 30トン:2面、10トン:2面、5トン:3面 | | |
| ・ブローア | 3.7KW:2台、5.5KW:1台 | | |
| ・発電機 | 500KVA | 1台 | |
| ・海水温度制御装置(アクアトロン) | 温海水 5系統 35トン/時 冷海水 4系統 6トン/時 | | |
| ・海況自動観測装置(パイロボット) | 3基 | | |
| ④ 試験船 | | | |
| ・開運丸 | 208トン | ディーゼル | 1,400PS (鉄鋼船) (平成23年に206トンに変更) |
| ・青鵬丸 | 65トン | ディーゼル | 1,000PS (〃) |
| ・なつどまり | 24トン | ディーゼル | 770PS (FRP船) |
| ⑤ 実習船 | | | |
| みどり | 4.2トン | ディーゼル | 50PS (FRP船) |
| 二十一海洋 | 2.8トン | 船外機(2サイクル) | 110KW (FRP船) |

2 職員名簿

| 部 署 | 職 名 | 氏 名 | 部 署 | 職 名 | 氏 名 |
|-------|-------------------------|------------------------|-----------------------------|-----------|-------|
| | 所 長 企画経営監 総括研究管理員 | 長津 秀二 伊藤 秀明 木村 大 | 開運丸 | 船 長 | 成田企重郎 |
| 総務調整室 | 室 長 | 柳谷 達夫 | | 機 関 長 | 田中 実 |
| | 主 幹 | 三浦 淳志 | | 通 信 長 | 松村 浩 |
| | 主 査 | 山田 雅治 | | 一 等 航 海 士 | 佐藤 隆文 |
| | 主 査 | 中村 元春 | | 一 等 機 関 士 | 長津 司 |
| | 技 師 | 荒田 茂 | | 一 等 機 関 士 | 佐藤 孝廣 |
| | 技能技師 | 上村 健 | | 二 等 航 海 士 | 高木 広美 |
| 資源管理部 | 部 長 | 兜森 良則 | | 二 等 航 海 士 | 若崎 忠彦 |
| | 研究管理員 | 柳谷 智 | | 二 等 航 海 士 | 石井 達也 |
| | 研究管理員 | 伊藤 欣吾 | | 二 等 機 関 士 | 多田 繕伸 |
| | 主任研究員 | 吉田 雅範 | 二 等 機 関 士 | 逢坂 健幸 | |
| | 研究員 | 三浦 太智 | 甲 板 長 | 小平 泰史 | |
| | 研究員 | 高梨 勝美 | 甲 板 員 | 金屋 富明 | |
| 漁場環境部 | 総括研究管理員 (部長事務取扱) | 佐藤 晋一 | 甲 板 員 | 金澤 俊介 | |
| | 主任研究員 | 高橋 進吾 | 機 関 員 | 伊藤 和弘 | |
| | 主任研究員 | 高坂 祐樹 | 機 関 員 | 高屋敷一成 | |
| | 主任研究員 | 田中 淳也 | 厨 房 員 | 加福 文二 | |
| | 研究員 | 小泉 広明 | | | |
| ほたて貝部 | 部 長 (部長事務取扱) | 工藤 敏博 | 青鵬丸 | 船 長 | 立石 淳一 |
| | 研究管理員 | 吉田 達 | | 機 関 長 | 安田 勝 |
| | 技 師 | 小笠原大郎 | | 一 等 航 海 士 | 北嶋 栄一 |
| | 研究員 | 松尾みどり | | 二 等 機 関 士 | 中村 義美 |
| | 研究員 | 小谷 健二 | | 二 等 機 関 士 | 肴倉 厚雄 |
| | 研究員 | 小倉大二郎 | 甲 板 員 | 本堂 洋一 | |
| | 技能技師 | 川村 要 | 甲 板 員 | 今泉 健介 | |
| 資源増殖部 | 部 長 | 菊谷 尚久 | なつどまり | 機 関 員 | 横田 広平 |
| | 主任研究員 | 藤川 義一 | | 厨 房 員 | 阪崎 勝 |
| | 主任研究員 | 山田 嘉暢 | | 船 長 | 木村 英行 |
| | 研究員 | 鈴木 亮 | | 機 関 長 | 相野 幹夫 |
| | 研究員 | 高橋 宏和 | | 一 等 機 関 士 | 佐藤 博之 |
| | 技能技師 | 尾鷲 政幸 | 二 等 航 海 士 | 八木橋憲一 | |
| | | | 甲 板 員 | 星野 元紀 | |
| | | | 事務所：33名 試験船：31名 計：64名 | | |

3 歳出予算執行状況－1

(平成22年度)

(単位:千円)

| 事業種目 | 事業内容 | 決算額 |
|---------------------------------|--|---------|
| 法人管理運営費支出 | | 2,608 |
| 管理運営費支出 | | 323 |
| 法人調整費支出 | 法人全体の調整(各種委員会費等) | 323 |
| 建物維持修繕費支出 | | 2,285 |
| 建物維持修繕費支出 | 庁舎等の維持修繕費 | 2,285 |
| 本部補助金支出 | | 72 |
| 本部補助金支出 | | 72 |
| 緑と水の環境技術革命プロジェクト事業事業 化可能性調査費 | 新産業を創出する事業のビジネスモデル及び ロードマップ作成のための調査 | 72 |
| 法人管理運営費支出(繰越金支出) | | 15,317 |
| 管理運営費支出 | | 15,317 |
| 繰)法人調整費支出 | 法人全体の調整(試験船の維持修繕) | 11,283 |
| 繰)法人調整費(研究)支出 | 法人全体の調整(試験船の維持修繕) | 4,034 |
| 水総研管理費支出 | | 149,933 |
| 管理費支出 | | 149,933 |
| 一般管理費支出 | 管理運営費 | 34,759 |
| 試験船警備費支出 | 試験船「開運丸」「青鵬丸」の巡回警備業務委 託料 | 2,706 |
| 運航管理費支出 | 試験船「開運丸」「青鵬丸」の運航管理費 | 31,620 |
| 上架修理費支出 | 試験船「開運丸」「青鵬丸」の維持修繕費 | 35,334 |
| 船舶保険料支出 | 試験船「開運丸」「青鵬丸」「なつどまり」及び 実習船「みどり」の漁船保険料 | 6,164 |
| なつどまり運航管理費支出 | 試験船「なつどまり」の運航管理費 | 11,907 |
| アクアトロン施設運営費支出 | アクアトロン設備保守運営管理 | 19,438 |
| 実習船管理費支出 | 実習船「みどり」の運航管理費 | 591 |
| 非常勤職員等経費支出 | 非常勤労務員の賃金等 | 7,415 |

3 歳出予算執行状況-2

(単位:千円)

| 事業種目 | 事業内容 | 決算額 |
|--------------------------------|------------------------------------|--------|
| 水総研業務費支出 | | 55,440 |
| 共通業務費支出 | | 20,408 |
| 施設整備費支出 | 研究機器の整備 | 5,289 |
| 陸奥湾海況自動観測事業費支出 | 陸奥湾海況自動観測システム運営費 | 11,891 |
| 陸奥湾海況自動観測ブイ通信施設改修事業費支出 | 陸奥湾海況自動観測システム通信施設改修 | 3,228 |
| 資源管理部費支出 | | 2,689 |
| ヤナギムシガレイの資源生態調査と管理手法開発事業費支出 | ヤナギムシガレイの資源管理手法の開発 | 886 |
| 計量漁探を用いた新たな資源評価手法の開発事業費支出 | ウスマバルの資源評価をより高い精度で実施する手法の開発 | 1,122 |
| 重要魚類モニタリング調査事業費支出 | 底魚類の資源評価のための基本情報のモニタリング | 681 |
| 漁場環境部費支出 | | 1,944 |
| イカ類漁海況情報収集・提供事業費支出 | スルメイカの漁期前調査及び漁期中の回遊状況等の情報提供 | 279 |
| 陸奥湾海況情報提供事業費支出 | 海況情報データ提供及び情報交換 | 311 |
| 貝毒高精度モニタリング手法開発試験費支出 | 貝毒の高精度モニタリング手法の開発 | 1,354 |
| ほたて貝部費支出 | | 2,514 |
| 陸奥湾の海洋環境とホタテガイの成長に関する研究事業費支出 | 陸奥湾の海洋環境とホタテガイの成長との関係を解明 | 326 |
| ホタテガイ増養殖安定化推進事業費支出 | 天然採苗予報調査、養殖実態調査 | 1,016 |
| 陸奥湾におけるホタテガイ稚貝の安定確保に関する研究費支出 | ホタテガイ稚貝安定確保のための情報提供 | 1,172 |
| 資源増殖部費支出 | | 1,087 |
| 早熟系マコンブ種苗を用いたコンブ養殖手法の開発研究事業費支出 | 早熟系マコンブ種苗を用いた養殖手法の開発 | 362 |
| 低コストなウスマバル種苗の生産技術の開発研究事業費支出 | 低コストで大量のウスマバル放流種苗を生産する技術の開発 | 725 |
| 研究費交付金事業費支出 | | 26,798 |
| 省エネ型いか釣り漁法開発・実用化推進事業費支出 | LED水中灯を使用した省エネ型いか釣り漁法の開発(県交付金分) | 1,429 |
| あかいか漁場探査シミュレーションモデル開発事業費支出 | アカイカ漁場形成予測を行うシミュレーションモデルの開発 | 3,263 |
| 温暖化に打ち勝つこんぶ藻場づくり事業費支出 | 高温耐性をもつ藻場造成用コンブ母藻の育種及びコンブ藻場造成手法の開発 | 6,677 |
| 省力・省コスト型種苗生産システム開発事業費支出 | ワムシの粗放連続培養技術を用いた省力・省コスト型飼育技術の開発 | 1,734 |

3 歳出予算執行状況-3

(単位:千円)

| 事業種目 | 事業内容 | 決算額 |
|----------------------------------|----------------------------------|--------|
| 韓国向けほや生産体制づくり事業費支出 | 湾内産ホヤを用いた種苗生産技術の確立 | 920 |
| 海面養殖業高度化事業費支出 | ホタテガイのへい死原因解明 | 811 |
| 青森ほたて生産・販売実証事業費支出 | 大型活ホタテガイの生産実証及び販売実証 | 2,935 |
| ゆるぎないなまこ主産地形成事業費支出 | ナマコ種苗放流による資源添加効果の解明 | 7,389 |
| 栽培技術開発事業費支出 | マコガレイ、キツネメバル等の放流技術開発等 | 1,640 |
| 水総研受託研究費支出 | | 85,067 |
| 水総研受託研究費支出 | | 85,067 |
| 温排水モニタリング調査事業費支出 | 東通原子力発電所の温排水による影響調査 | 3,092 |
| 資源管理に必要な情報提供事業費支出 | 日本海沿岸における定線観測 | 968 |
| 資源回復計画推進事業費支出 | 資源回復計画対象魚種の資源状況調査 | 1,804 |
| 漁業公害調査指導事業費支出 | 陸奥湾の漁場環境保全のための監視調査 | 420 |
| EU向け輸出ほたて安全対策事業費支出 | 対EU輸出ホタテガイ生産海域における毒素産生性プランクトン検査 | 502 |
| 浅海定線調査事業費支出 | 陸奥湾海洋観測 | 476 |
| 貝毒プランクトンモニタリング調査事業費支出 | 国内向け二枚貝の貝毒及び貝毒原因プランクトンのモニタリング | 2,902 |
| あおもりの水産資源を育む干潟・藻場づくり推進事業費支出 | 陸奥湾の干潟・藻場調査 | 8,100 |
| 環境変化に対応した砂泥域二枚貝類の増養殖生産システムの開発事業費 | ホタテガイに継ぐ魚種としての複合的なアカガイ増養殖技術開発 | 2,400 |
| 日本海で急増したサワラを有効利用するための技術開発事業費支出 | 日本海のサワラの分布回遊と利用状況の解明 | 440 |
| あかいか資源調査事業費支出 | 太平洋沖合のアカイカ資源の動向及び漁場形成要因解析のための調査 | 11,251 |
| 日本周辺国際魚類調査事業費支出 | 本県におけるマグロ類とサメ類の漁獲状況調査 | 980 |
| 大型クラゲ出現調査及び情報提供委託事業費支出 | 大型クラゲ出現調査及び情報提供 | 2,367 |
| 地球温暖化による沿岸漁場環境への影響評価・適応策検討調査委託事業 | 地球温暖化が磯根資源に与える影響を評価する手法の開発 | 2,144 |
| 資源評価調査委託事業費支出 | 本県周辺海域で利用可能な魚種の資源量を評価するための関係資料整備 | 17,944 |
| 東通村太平洋北部沿岸海域資源増大計画基礎調査事業費支出 | 猿ヶ森沿岸海域における水産資源の増殖場造成手法の検討 | 7,850 |
| 陸奥湾・太平洋北海域マダラ栽培漁業資源回復等対策費支出 | マダラの標識放流及び再捕状況調査 | 1,059 |
| ホンダワラ種苗生産技術開発受託研究費支出 | 海藻類の種苗の簡便な大量運搬方法の検討 | 1,000 |

3 歳出予算執行状況-4

(単位:千円)

| 事業種目 | | 事業内容 | 決算額 |
|------------|----------------------------------|--------------------------------|---------|
| | ナマコ・アマモ保護・育成礁の効果等の調査事業費支出 | ナマコとアマモの保護・育成機能を持つ人工漁礁の効果等の調査 | 4,911 |
| | ナマコ増殖礁設置事前調査費支出 | 青森市が造成するマナマコ増殖場の事前調査 | 3,650 |
| | 資源管理方策の数理モデルを中心とする評価技法に関する研究費支出 | ナマコ資源動向の解明 | 900 |
| | 第2鱒ヶ沢地区広域漁場整備事業効果調査委託事業費支出 | ホンダワラ育成状況及びハタハタ産卵状況の調査 | 3,820 |
| | 気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化研究費支 | 気候変動に伴う水産資源環境の動態を診断・予測するモデルの開発 | 5,219 |
| | 長後地区広域漁場整備事業増殖場効果調査委託事業費支出 | ウスメバルの蛸集状況調査 | 870 |
| 水総研受託事業費支出 | | | 1,390 |
| | 水総研受託事業費支出 | | 1,390 |
| | 新規漁業就業者対策事業費支出 | 漁業の基礎的知識、技術を身につけるための賓陽塾の運営 | 1,390 |
| 内水研業務費支出 | | | 98 |
| | 生産管理部費支出 | | 98 |
| | 海産魚類防疫巡回指導事業費支出 | 海面増養殖場の魚病診断、防疫指導 | 98 |
| 合計 | | | 309,925 |

※職員人件費については産業技術センター本部予算で一括計上

※他の研究所から配分替えを受けて執行した事業費を含む

※配分替えにより他の研究所で執行した事業費を除く

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

| 報告書名 | 発行年月 | 備考 |
|--------------------------------------|---------|----------|
| 平成20年度青森県水産総合研究センター事業報告 | 平成23年3月 | |
| 青森県水産総合研究センター増養殖研究所事業報告（平成20年度） 第39号 | 平成23年3月 | |
| 平成21年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産部門事業概要年報 | 平成22年7月 | |
| 平成22年度資源管理体制強化実施推進事業浅海定線調査結果報告書（陸奥湾） | 平成23年2月 | |
| 平成22年度外洋性イカ（スルメイカ・アカイカ）に関する基礎資料集 | 平成23年2月 | |
| 平成19～21年度定線観測結果表 | 平成22年9月 | |
| マボヤ種苗生産マニュアル | 平成23年3月 | |
| 未来につなぐ資源管理2011 | 平成23年3月 | 青森県と共同発行 |

(2) 提供情報

| 情報名 | 期間及び回数 |
|-------------------------|----------------------------|
| ウオダス漁海況速報 No. 1696～1730 | 平成22年4月～平成23年3月（35回、号外35回） |
| ホタテガイ採苗速報 No. 509～525 | 平成22年4月～平成23年3月（17回） |
| 同上（東奥日報紙） | 同上 |
| ホタテガイ養殖管理情報 | 平成22年6月～平成22年9月（8回） |
| 同上（東奥日報紙） | 同上 |
| 陸奥湾海況情報 No. 773～822 | 平成22年4月～平成23年3月（50回） |
| 陸奥湾の水温（東奥日報紙） | 平成22年4月～平成23年3月（毎日） |

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

| 発行番号 | 発行年月日 |
|------|----------|
| 第4号 | 平成22年 7月 |
| 第5号 | 平成22年11月 |
| 第6号 | 平成23年 3月 |

(4) 学会発表要旨、学会誌発表論文

Shinji k., Y. Fujikawa, N. kon, T. Sato and M. Notoya (2010) Seasonal changes in the biomass and occurrence of wild sporophytes of *Saccharina japonica* (Phaeophyceae) on the coast of Cape Ohma, northernmost of Honshu, Japan. *Algal Resources*, **3**, 111-122.

吉田雅範 (2010) 青森県太平洋北部沿岸のウスメバルについて (その2) . *東北底魚研究*, **30**, 2-5.